

NEWS RELEASE

日本板硝子株式会社
2018年5月11日

太陽光パネル用ガラスの製造設備を増設

日本板硝子株式会社（東京都港区、代表執行役社長兼 CEO 森 重樹、以下「NSG」）は、太陽光パネル用の透明導電膜（TCO: transparent conductive oxide）ガラスの増産に向け、総額約 380 億円の新規設備投資を決定しましたので、お知らせいたします。太陽光パネルの世界的な需要増大に対応するため、2019 年度から 2021 年度にかけて、現在休止中のベトナムのフロートラインを改修・再稼働するとともに、米国で工場を増設します。

今回の投資決定は、薄膜太陽光パネルの世界的メーカーである米国ファーストソーラー社との長期供給契約によるもので、NSG は TCO ガラスの増産により、VA（高付加価値）製品へのシフトを加速していきます。

太陽光発電の世界需要は、今後 3 年間、毎年 2 ケタ成長が見込まれており、ファーストソーラー社は高いエネルギー収率の最新型薄膜モジュール「シリーズ 6」の生産施設を拡張中です。

NSG の TCO ガラスは、成形中あるいは成形直後の高温のガラス表面に導電膜を形成するオンラインコーティングによって製造され、耐久性の高い膜形成により、幅広い用途に使用できます。オンラインコーティングには大量生産に適し、コスト面で優位などの特長があります。

NSG は太陽光パネル用ガラスや他の VA 製品の提供拡大により、成長戦略を推進するとともに、再生可能エネルギーの普及に貢献していきます。

日本板硝子株式会社（NSG グループ）は、建築用・自動車用ガラス、ガラス加工製品、および高機能ガラス製品の分野における世界最大手メーカーの一つです。グループ従業員数は約 27,000 人。世界各地に主要な製造拠点をもち、100 カ国以上で製品の販売を行っています。1918 年に創業し、2006 年フロートガラス製法の発明者でガラス業界のグローバルリーダーであった Pilkington 社との統合を実施しました。Pilkington の名称は、当社グループの建築および自動車ガラスの商標として引き続き使用されています。<http://www.nsg.co.jp>

ファーストソーラー社は、先進的なモジュールシステム技術による総合太陽光発電システムのリーダーです。当社の統合的な発電所ソリューションは、今日の化石燃料発電に対する代案を提供します。原材料の調達から使用済みモジュールのリサイクルに至るまで、ファーストソーラーのエネルギーシステムは環境の保全と向上に役立っています。ファーストソーラーの詳細についてはこちらをご参照ください。<http://www.firstsolar.com>

<お問い合わせ先>

広報部：03-5443-9477

IR 部：03-5443-0100